

経営比較分析表（令和4年度決算）

佐賀県 玄海町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	75.64	100.00	3,520

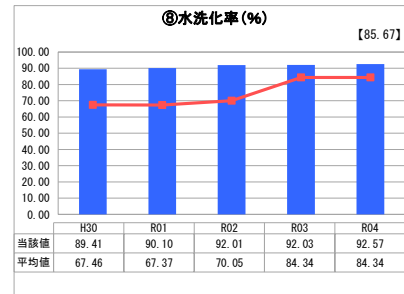
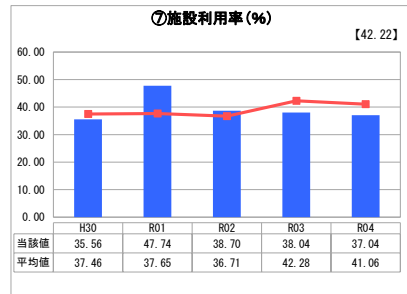
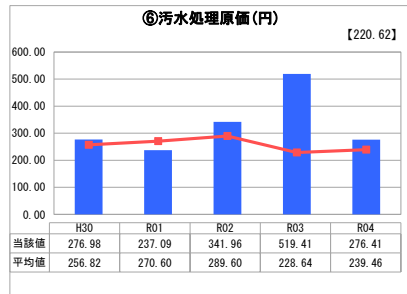
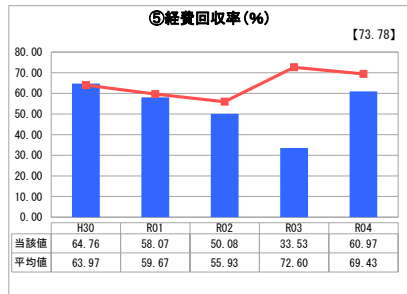
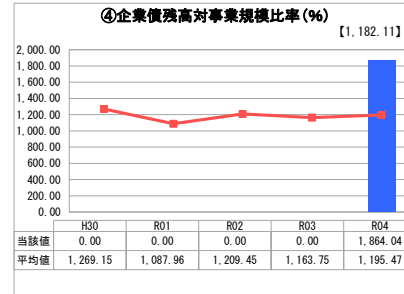
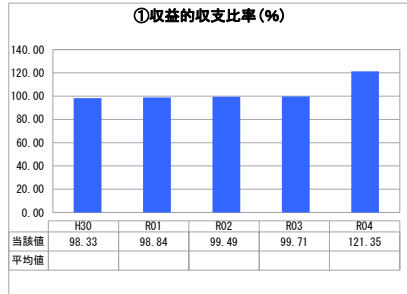
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,130	35.92	142.82
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,837	1.46	2,628.08

グラフ凡例

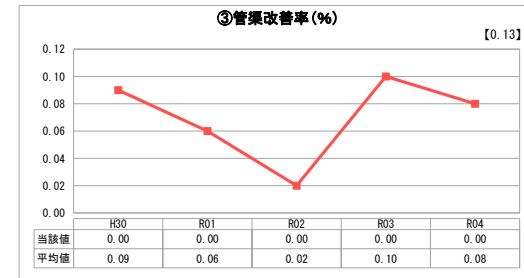
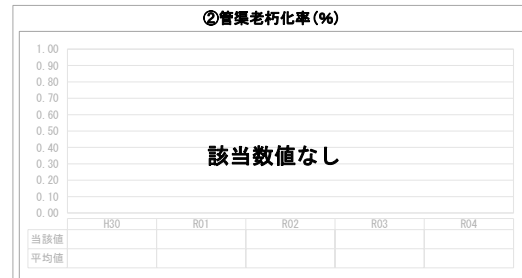
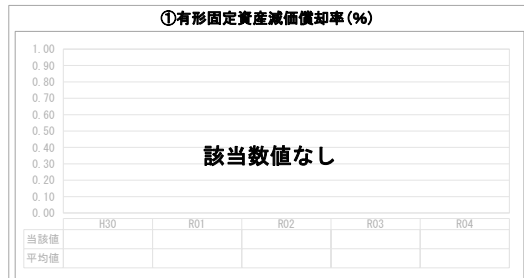
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経費回収率は平均値より低く60.97%となっており、使用料のみでは経営は成り立たず、一般会計繰入金に依存している現状である。昨年度と比べ経費回収率が上がった要因としては、汚水処理費の減（主に更新工事の減）が考えられる。また、汚水処理原価についても同じことが言える。また、人口減に伴い汚水処理量が減っていることが考えられ、施設利用率が徐々に下がっている。このため、令和6年度から料金の賦課方式（現在は人頭制）を従量制とする予定である。なお、令和5年度より公営企業会計に移行しており、令和4年度は当初決算となっている。

2. 老朽化の状況について

南部浄化センターの併用開始が平成18年度、北部浄化センターの併用開始が平成22年度となっており、近年修繕箇所が度々発生してきている。このため、整備計画を作成し、計画的に修繕を進めている。

全体総括

人口減や施設の老朽化が進む中、今後も使用料のみでの経営は不可能である。このため、使用料の改定、処理方式の検討及び計画的な修繕を進めていき、安定的なサービスの供給を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。